



外貨で汽車を買い、全国の交通網が整います。徳川幕府の財源は年貢米でしたが、近代日本の立ち上げにも、農業が力を発揮します。

外貨を得て、近代化を進める。そのためには、外国に売れるものを積極的に作ろう。そう考えた政府は、欧米人の好むワインやオリーブオイルを輸出品にするため、試験栽培に取り組んだのです。それが北野にあった「神戸阿利禰園」^{オリーブ}であり、兵庫県稲美町の「播州葡萄園」^{いんみちよう ばんしゅうぶどう}だったのです。



▲一葉公園（旧一葉小学校敷地内）にあるオリーブの古木
◀「日本最初のオリーブ樹のひとつ」と言われる淡川神社のオリーブの古木

KOBE エコタウン・オリーブプロジェクト

オリーブオイルセミナーを開催しました

環境局では、オリーブによるまちの緑化・美化、オリーブを活用したまちづくり活動を推進する「KOBEエコタウン・オリーブプロジェクト」を展開しています。

エコタウン取組団体の皆さんにオリーブの魅力を知っていただくため、平成29年10月18日（水）に、株式会社J-オイルミルズ神戸工場（東灘区深江浜町）のご協力により、オリーブソムリエの水野勢技世さんによるオリーブオイルセミナーを開催しました。

セミナーでは、オリーブオイルの活用法について学んだ後、世界各地で生産されたオリーブオイルの中から5種類のオイルをテイスティングしました。

オリーブオイルは、生産地によって味や香りに大きな違いや特色があるため、参加した皆さんは興味深そうにテイスティングを行い、お気に入りのオリーブオイルを見つけていました。

皆さんの感想

- ・セミナーはとても分かりやすく、自分の中でオリーブの世界が広がりました。オリーブの木を育ててみようと思いました。
- ・テイスティングでは、それぞれの味・香りがよくわかり楽しめました。料理に合わせたオリーブオイルの使い方も大変参考になりました。



問い合わせ

環境局地域環境課 TEL 322-6943